

収蔵標本を一堂に公開！

日本の鳥

収蔵標本公開



2022.2.5 sat.



6.26 sun.

我孫子市鳥の博物館

【開館時間】午前9時30分～午後4時30分【休館日】毎週月曜日(祝日の場合、翌平日)【入館料】一般 300円
大学・高校生 200円 70歳以上、中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(含付き添い1名)は無料 20名以上の
団体は入館料2割引【問い合わせ】千葉県我孫子市高野山234-3 ☎04-7185-2212



1990年5月22日に開館した我孫子市鳥の博物館は、開館以来、身近な生き物である鳥について理解を深めてもらえるように、日本産鳥類全種のはく製標本の収集を目標に資料収集を進めています。その結果、これまでに日本産鳥類633種の約6割にあたる385種の標本を収蔵しています。今回の展示では、これらの標本をできるだけ多く展示し、多様な日本の鳥をご紹介します。

～鳥の標本はどうやって集めているの？～



ひろう

事故や病気のために野外で死んでしまった鳥を集めます。一般の人から拾った鳥を送ってもらうこともあります。



つくる

一度冷凍保存し、はく製師さんに依頼して展示用の本はく製や組み立て骨格標本にしています。研究用のはく製や骨格標本は、主に博物館の職員がつくっています。

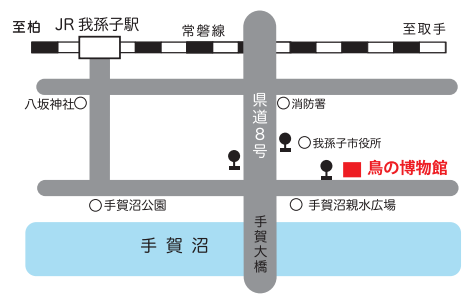


ほぞんする

標本は、害虫やカビが発生しないように、温度と湿度を管理している収蔵庫で保管されます。調査・研究や、展示などの様々な教育普及事業に利用されています。



我孫子市鳥の博物館の収蔵標本を一堂に公開します！



●鳥の博物館へのアクセス

【公共交通機関】

JR常磐線我孫子駅南口から市役所経由のバスで「市役所」下車、徒歩5分

【問い合わせ】

千葉県我孫子市高野山234-3
電話04-7185-2212

企画展記念スタンプをおしてね!